

出雲市学校給食センター第二次再編整備事業の進捗状況等について

学校給食センターでは、新年度2学期から新斐川学校給食センターが稼働し、配食エリアの再編を行います。進捗状況等については、次のとおりです。

1. 新斐川学校給食センターの工事について

現在、建築・設備工事が行われており、今後、外構工事、厨房備品の据付設置等を行って、夏季に、各機器類の試験運転及び給食調理の準備を経て、新年度2学期から斐川学校給食センターとして稼働する予定です。

2. 配食エリアの再編について

新斐川学校給食センターの稼働に伴い、佐田・多伎・湖陵学校給食センターは、新年度1学期をもって廃止し、同2学期からは、出雲・平田・斐川学校給食センターの3施設で、市内全学校給食を配食します。

配食計画としては、現在の佐田・多伎・湖陵学校給食センターの配食数である約1,000食を出雲学校給食センターが受け持ち、その増加分に対応するため、第一中学校の校区分約2,000食を、斐川学校給食センターが受け持つこととなります。

このことから、出雲学校給食センターが約8,000食、平田学校給食センターが約4,200食、斐川学校給食センターが約5,000食を配食する計画です。

3. 特別栽培米の学校給食への提供について

斐川地域の米米(まいまい)田んぼの特別栽培米を、新年度2学期と3学期の2週間ずつ、特別栽培米ウィークとして、市内全学校給食に提供する予定です。その後、出雲及び平田地域においても特別栽培米の試験栽培等を行い、令和3年産米から、市内すべての学校給食で特別栽培米の使用を目指します。

事業内容 (年度)	事業スケジュール			
	令和元年度		令和2年度	
建設工事				
給食調理準備				
特別栽培米ウィーク				

※特別栽培米

各地域の慣行的に行われている節減対象農薬及び化学肥料の使用状況に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された環境にやさしい米をいう。